

製品名: PDLIM7 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe87502**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:50-1:200,FC 1:50-1:100
分子量	Calculated MW:50 kDa; Observed MW:50 kDa

抗原情報

遺伝子名	PDLIM7
別名	LMP1; LMP3
遺伝子 ID	9260
SwissProt ID	Q9NR12
免疫原	ヒト PDLIM7 の組み換えタンパク質

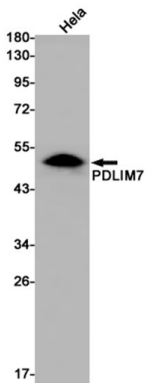
背景

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、保存された PDZ ドメインと LIM ドメインからなるタンパク質ファミリーの代表で

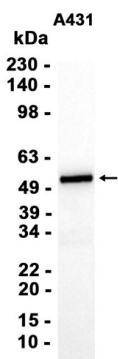
す。LIM ドメインは、遺伝子転写や発生、細胞骨格相互作用など、様々な状況におけるタンパク質間認識に機能することが示唆されています。このタンパク質の LIM ドメインはタンパク質キナーゼに結合し、PDZ ドメインはアクチンフィラメントに結合します。この遺伝子産物は、ret/ptc2 の分裂促進シグナル伝達に不可欠なアクチンフィラメント関連複合体の組み立てに関与しています。生物学的機能はアダプターとして働くと考えられ、PDZ ドメインは LIM 結合タンパク質を骨格筋と非筋組織の両方のアクチンフィラメントに局在させます。この遺伝子の選択的スプライシングにより、複数の転写産物バリエーションが生じます。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]

研究分野

画像データ



PDLIM7 抗体 (1:1000 希釈) を使用した HeLa 細胞溶解物中の PDLIM7 のウエスタンブロット検出。



AMRe87502 を 1:1000 で使用して A431 細胞抽出物をウエスタンブロット分析しました。